



# スマート ソフトウェア ライセンシング

この章では、スマート ソフトウェア ライセンシングの機能の概要を示し、Cisco MDS 9000 シリーズスイッチの登録および認証を完了するために必要なツールとプロセスについて説明します。

- [機能情報の確認 \(1 ページ\)](#)
- [スマート ソフトウェア ライセンシングについて \(2 ページ\)](#)
- [スマート ソフトウェア ライセンシングの注意事項および制約事項 \(8 ページ\)](#)
- [スマート アカウントとバーチャル アカウント, on page 8](#)
- [Smart Software Manager の概要 \(8 ページ\)](#)
- [Smart Call Home の概要 \(9 ページ\)](#)
- [Smart Software Manager サテライト \(9 ページ\)](#)
- [スマート アカウントの要求, on page 10](#)
- [スマート アカウントへのユーザの追加 \(11 ページ\)](#)
- [GUI を介したスマート ライセンスへの従来のライセンスの変換 \(12 ページ\)](#)
- [CLI を介したスマート ライセンスへの従来のライセンスの変換 \(12 ページ\)](#)
- [スマート ソフトウェア ライセンシングの設定 \(14 ページ\)](#)
- [スマート ソフトウェア ライセンシング用の Smart Call Home の設定 \(17 ページ\)](#)
- [スマート ソフトウェア ライセンシングの確認 \(17 ページ\)](#)
- [スマート ソフトウェア ライセンシングの設定の例 \(18 ページ\)](#)
- [スマート ソフトウェア ライセンシングの確認の例 \(19 ページ\)](#)
- [スマート ソフトウェア ライセンシングの使用例 \(28 ページ\)](#)
- [スマート ソフトウェア ライセンシングのその他の参考資料 \(30 ページ\)](#)
- [スマート ソフトウェア ライセンシングの機能の履歴 \(30 ページ\)](#)

## 機能情報の確認

ご使用のソフトウェアリリースで、このモジュールで説明されるすべての機能がサポートされているとは限りません。最新の警告および機能情報については、<https://tools.cisco.com/bugsearch/> の Bug Search Tool およびご使用のソフトウェア リリースのリリース ノートを参照してください。このモジュールで説明される機能に関する情報、および各機能がサポートされるリリース

の一覧については、「[スマートソフトウェアライセンスの機能の履歴](#)」の表を参照してください。

## スマートソフトウェアライセンスについて

### スマートライセンスの概要

シスコスマートライセンスは、シスコポートフォリオ全体および組織全体でソフトウェアをより簡単かつ迅速に一貫して購入および管理できる柔軟なライセンスモデルです。また、これは安全です。ユーザーがアクセスできるものを制御できます。スマートライセンスを使用すると、次のことが可能になります。

- **簡単なアクティベーション**：スマートライセンスは、組織全体で使用できるソフトウェアライセンスのプールを確立します。PAK（製品アクティベーションキー）は不要です。
- **管理の統合**：My Cisco Entitlements（MCE）は、使いやすいポータルですべてのシスコ製品とサービスの完全なビューを提供します。
- **ライセンスの柔軟性**：ソフトウェアはハードウェアにノードロックされていないため、必要に応じてライセンスを簡単に使用および転送できます。

スマートライセンスを使用するには、まず Cisco Software Central でスマートアカウントを設定する必要があります（<https://software.cisco.com/software/cs/ws/platform/home>）。

シスコライセンスの詳細な概要については、<https://www.cisco.com/c/en/us/buy/licensing/licensing-guide.html> を参照してください。

## スマートソフトウェアライセンスの概要

スマートソフトウェアライセンスは、クラウドベースのライセンスのモデルで、シスコ製品の使用とレポートに関してお客様を承認するツールとプロセスから構成されています。この機能は注文をキャプチャし、Smart Call Home トランスポートメディアを経由してシスコのクラウドライセンスサービスと通信して、対応するパフォーマンスとテクノロジーのレベルで製品の登録と認証を実行します。

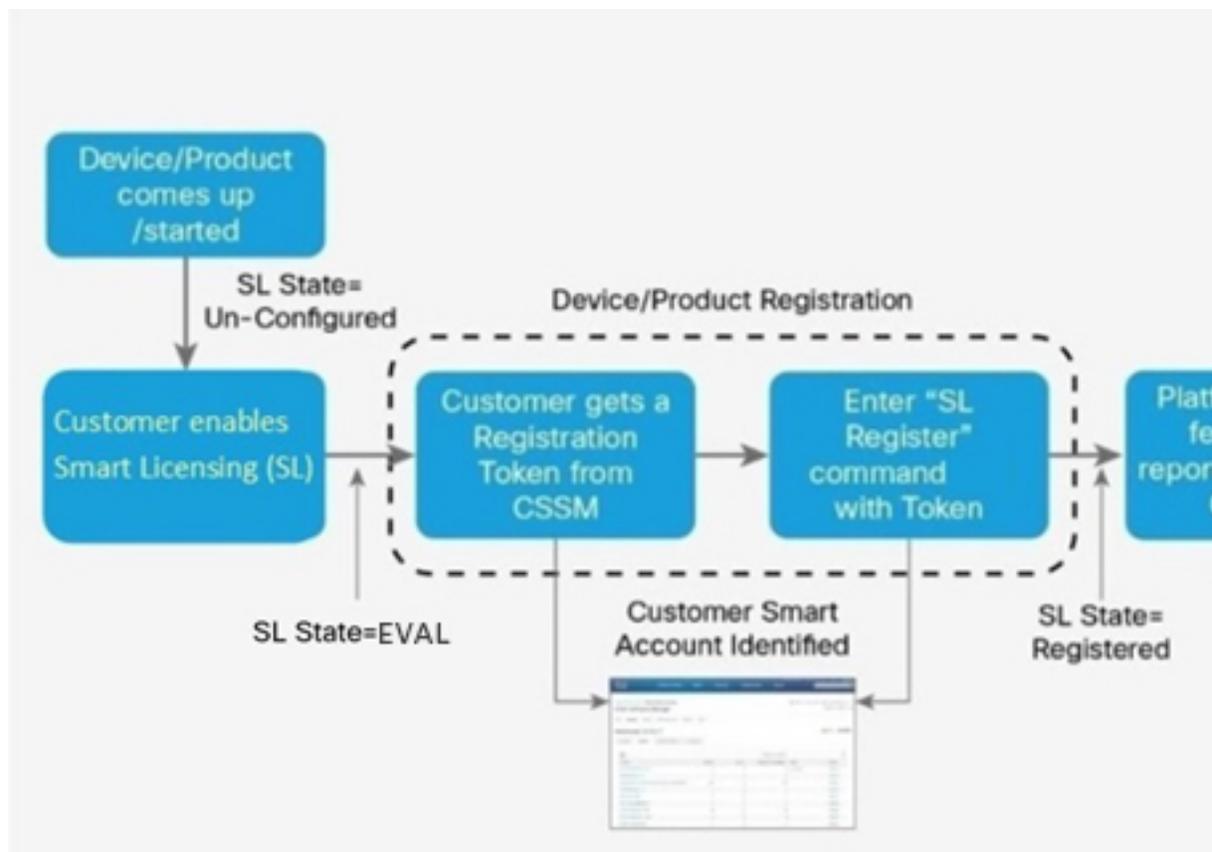
スマートソフトウェアライセンスモデルでは、特別なソフトウェアキーまたはアップグレードライセンスファイルを使用せずに、ライセンス付き製品をアクティベートできます。また、適切な製品コマンドまたは設定を使用して、新しい機能をアクティベートすることもできます。ソフトウェアのリブートは、製品の機能と要件によって変わるため、必要とは限りません。

同様に、高度な機能、パフォーマンス、および機能をダウングレードまたは削除するには、設定やコマンドを削除する必要があります。これらのアクションのいずれかがとられたら、ライセンスの状態の変更は次回同期時に Smart Software Manager で示され、適切なアクションが実行されます。

Cisco NX OS 8.4(2) 以降では、サブスクリプションベースのライセンスは Cisco MDS 9000 シリーズスイッチで使用できます。これにより、顧客は一定期間ライセンスを購入することができます。

スマートソフトウェア ライセンシングにより、ご使用の Cisco 製品向けの単一の標準化されたライセンス ソリューションを提供します。

Figure 1: スマートライセンスのワークフロー



## 従来のライセンスの概要

シスコの従来のライセンスは、製品アクティベーション キー（PAK）と固有デバイス識別子（UDI）に基づく既存のライセンス モデルです。ほとんどの デバイスでは、UDI を読み込むための .tar ファイルを取得してスイッチにインストールする前に、キャパシティのニーズが評価されます。お客様が PAK を発注すると、PAK がユーザーに電子メールで送信されます。UDI と PAK は、Cisco NX-OS ソフトウェアのインストールを完了するために、スイッチのブート ディレクトリに登録されているライセンスファイルを受信するために組み合わせて使用されます。

License Registration Portal（LRP）は、従来のライセンスのスマートライセンスへの移行を支援するために使用できます。LRP にアクセスし、トレーニングを受け、ライセンスを管理するには、<http://tools.cisco.com/SWIFT/LicensingUI/Home> に移動します。

従来のライセンスをスマートライセンスに変換するには、次の方法があります。

- [GUI を介したスマートライセンスへの従来のライセンスの変換, on page 12](#)
- [CLI を介したスマートライセンスへの従来のライセンスの変換, on page 12](#)

## ライセンスモデルの比較

Cisco MDS 9000 シリーズスイッチでは、2つのタイプのライセンスモデル、つまり従来のライセンスとスマートソフトウェアライセンスが使用されます。

表 1: 従来のライセンスとスマートソフトウェアライセンスの比較

説明	従来のライセンス	スマートソフトウェアライセンス
ライセンスインスタンスノードは製品インスタンスに固定	はい	非対応
設定時に製品登録	非対応	はい
レポート、監視、所有、使用のためのツールを提供	非対応	はい
Smart Call Home が必要	非対応	はい

## スマートソフトウェアライセンスモデル

Cisco MDS 製品ラインに定義されたスマートソフトウェアライセンスモデルには、次のオプションがあります。

- サブスクリプションベースのライセンス
  - Advantage (A)  
ライセンスには、Cisco Nexus Dashboard Fabric Controller (旧 DCNM) および Cisco MDS 9000 シリーズの Enterprise ライセンスが含まれています。
  - Premier (P)  
ライセンスには、Cisco Nexus Dashboard Fabric Controller (旧 DCNM)、SAN Analytics、および Cisco MDS 9000 シリーズの Enterprise ライセンスが含まれています。
- エンタープライズアグリーメント (EA)

ライセンスの命名規則は次のとおりです。M91XK9-A-1Y

- M91XK9 : Cisco MDS 9000 シリーズ
- A または P : ライセンス タイプ
- NY : ライセンス期間 (年単位)。

次の表に、サブスクリプション ベースのライセンスの PID を示します。

表 2: サブスクリプション ベース ライセンスの PID

PID	License Type	期間 (年)
M91XK9-DCNM-1Y	サブスクリプション	1
M92XK9-DCNM-1Y	サブスクリプション	1
M93XK9-DCNM-1Y	サブスクリプション	1
M97XK9-DCNM-1Y	サブスクリプション	1
M91XK9-DCNM-3Y	サブスクリプション	3
M92XK9-DCNM-3Y	サブスクリプション	3
M93XK9-DCNM-3Y	サブスクリプション	3
M97XK9-DCNM-3Y	サブスクリプション	3
M91XK9-DCNM-5Y	サブスクリプション	5
M92XK9-DCNM-5Y	サブスクリプション	5
M93XK9-DCNM-5Y	サブスクリプション	5
M97XK9-DCNM-5Y	サブスクリプション	5
M91XK9-ENT-1Y	サブスクリプション	1
M92XK9-ENT-1Y	サブスクリプション	1
M93XK9-ENT-1Y	サブスクリプション	1
M97XK9-ENT-1Y	サブスクリプション	1
M91XK9-ENT-3Y	サブスクリプション	3
M92XK9-ENT-3Y	サブスクリプション	3
M93XK9-ENT-3Y	サブスクリプション	3
M97XK9-ENT-3Y	サブスクリプション	3
M91XK9-ENT-5Y	サブスクリプション	5
M92XK9-ENT-5Y	サブスクリプション	5
M93XK9-ENT-5Y	サブスクリプション	5

PID	License Type	期間（年）
M97XK9-ENT-5Y	サブスクリプション	5
L1-D-M91S-AXK9	時間ベース（Time Based）	1
L-D-M91S-AXK9	時間ベース（Time Based）	3
L5-D-M91S-AXK9	時間ベース（Time Based）	5
L1-D-M93S-AXK9	時間ベース（Time Based）	1
L-D-M93S-AXK9	時間ベース（Time Based）	3
L5-D-M93S-AXK9	時間ベース（Time Based）	5
L1-D-M97S-AXK9	時間ベース（Time Based）	1
L-D-M97S-AXK9	時間ベース（Time Based）	3
L5-D-M97S-AXK9	時間ベース（Time Based）	5
M91XK9-A-1Y	サブスクリプション	1
M91XK9-A-3Y	サブスクリプション	3
M91XK9-A-5Y	サブスクリプション	5
M93XK9-A-1Y	サブスクリプション	1
M93XK9-A-3Y	サブスクリプション	3
M93XK9-A-5Y	サブスクリプション	5
M97XK9-A-1Y	サブスクリプション	1
M97XK9-A-3Y	サブスクリプション	3
M97XK9-A-5Y	サブスクリプション	5
M91XK9-P-1Y	サブスクリプション	1
M91XK9-P-3Y	サブスクリプション	3
M91XK9-P-5Y	サブスクリプション	5
M93XK9-P-1Y	サブスクリプション	1
M93XK9-P-3Y	サブスクリプション	3
M93XK9-P-5Y	サブスクリプション	5
M97XK9-P-1Y	サブスクリプション	1
M97XK9-P-3Y	サブスクリプション	3
M97XK9-P-5Y	サブスクリプション	5
M91XK9-SD-1Y	サブスクリプション	1

PID	License Type	期間 (年)
M91XK9-SD-3Y	サブスクリプション	3
M91XK9-SD-5Y	サブスクリプション	5
M93XK9-SD-1Y	サブスクリプション	1
M93XK9-SD-3Y	サブスクリプション	3
M93XK9-SD-5Y	サブスクリプション	5
M97XK9-SD-1Y	サブスクリプション	1
M97XK9-SD-3Y	サブスクリプション	3
M97XK9-SD-5Y	サブスクリプション	5

次の表に、EAライセンスのPIDを示します。

表 3: EAライセンスのPID

PID	用語
E2N-MDS9100-G-A	3年または5年
E2N-MDS9100-BA	3年または5年
E2N-MDS9100-G-P	3年または5年
E2N-MDS9100-BP	3年または5年
E2N-MDS9300-G-A	3年または5年
E2N-MDS9300-B-A	3年または5年
E2N-MDS9300-G-P	3年または5年
E2N-MDS9300-B-P	3年または5年
E2N-MDS9700-G-A	3年または5年
E2N-MDS9700-B-A	3年または5年
E2N-MDS9700-G-P	3年または5年
E2N-MDS9700-B-P	3年または5年

## スマートソフトウェアライセンスングの注意事項および制約事項

- 従来のライセンスングとスマートソフトウェアライセンスングの両方を Cisco MDS 9000 シリーズスイッチで同時に使用することはできません。
- Cisco MDS NX-OS リリース 9.2(2) 以降、スマートソフトウェアライセンスは Cisco N-Port Virtualizer (Cisco NPV) デバイスではサポートされません。スマートソフトウェアライセンスは、Cisco MDS NX-OS リリース 9.2(1) 以前の Cisco NPV デバイスではサポートされていません。

## スマートアカウントとバーチャルアカウント

- スマートアカウントは、スマートアカウントが有効なすべての製品およびライセンスを 1 箇所で管理します。これにより、シスコソフトウェアの迅速な調達、導入、およびメンテナンスが可能になります。

組織に代わってスマートアカウントを要求する場合、スマートアカウントの作成時に要求側の組織の代表するための権限が必要です。要求を送信すると、要求が承認プロセスに進んでから、スマートアカウントへのアクセスが許可されます。

スマートアカウントの理解、セットアップ、管理については、<http://software.cisco.com> を参照してください。

- バーチャルアカウントは、スマートアカウント内のサブアカウントです。組織の配置、ビジネス機能、地域、定義された階層に基づいて、仮想アカウントの構造を定義できます。バーチャルアカウントの作成および保守は、スマートアカウント管理者のみが実行できます。

## Smart Software Manager の概要

Smart Software Manager を使用すると、ソフトウェアライセンスとスマートアカウントを単一のポータルから管理できます。インターフェイスを使用して、製品のアクティベート、ライセンスの管理、更新、ソフトウェアのアップグレードを行うことができます。登録プロセスを完了するには、アクティブなスマートアカウントが必要です。Smart Software Manager にアクセスするには、<http://www.cisco.com/web/ordering/smart-software-manager/index.html> に移動します。

Smart Software Manager で次の情報を追加する必要があります。

- 信頼できる固有デバイス識別子：これはデバイス ID (安全な固有デバイス識別子 (SUDI)) です。

- 組織識別子：これは、製品をスマートアカウントまたはバーチャルアカウントに関連付けるための数値形式です。
- 使用されるライセンス：Smart Software Manager がライセンスタイプと使用のレベルを理解できるようにします。

## Smart Call Home の概要

Smart Call Home 機能は、Smart Software Manager との通信に使用されます。Smart Call Home は、スマートソフトウェアライセンスを設定する際に自動的に有効になります。Cisco MDS 9000 シリーズスイッチでは、スマートソフトウェアライセンスはデフォルトで無効にされています。

Smart Call Home (SCH) サーバは、デフォルトで Cisco Smart Software Manager (CSSM) サテライトで実行されます。このサービスには、次の URL を使用してアクセスできます。

`https://<CSSM satllite IP:443>/Transportgateway/services/DeviceRequestHandler`

デバイス登録が CSSM サテライトと連動するように、この URL を Smart Call Home 設定の一部として提供します。例となる設定については、『[Smart Software ライセンスの設定の例](#)』を参照してください。

関連する Smart Call Home メッセージは、Smart Call Home が有効になっている場合のみ、Smart Software Manager に送信されます。スマートソフトウェアライセンスがデフォルトで有効になっているスイッチの場合、Smart Call Home も関連付けられたメッセージとともにデフォルトで有効になっています。

スマートソフトウェアライセンスを無効にするには、『[スマートソフトウェアライセンスのディセーブル化](#)』を参照してください。

## Smart Software Manager サテライト

Smart Software Manager サテライトは、スマートソフトウェアライセンスのコンポーネントで、Smart Software Manager と連携して動作してソフトウェアライセンスを管理します。お客様の製品ライセンスをインテリジェントに管理し、お客様が購入および使用するシスコのライセンスについてリアルタイムの可視性とレポートを提供します。

インターネットに直接接続してインストールベースを管理したくないお客様の場合は、Smart Software Manager サテライトをお客様のオンプレミス環境にインストールして、Smart Software Manager 機能のサブセットを使用できるようにします。サテライトアプリケーションをダウンロードし、それを導入して、Smart Software Manager に登録できます。

サテライトアプリケーションをオンプレミス環境で使用して次の機能を実行できます。

- ライセンスの有効化または登録
- 会社のライセンスに対する可視性の取得

- 会社のエンティティ間でのライセンス移動

Smart Software Manager サテライトの詳細については、<http://www.cisco.com/go/smartsatellite> を参照してください。

## スマートアカウントの要求

スマートアカウントの要求は、1回限りのプロセスです。それ以降のユーザ管理は、ツールを使用して提供される機能です。

### Before you begin

Cisco Employee Connection (CEC) ID があることを確認します。

### Procedure

**ステップ 1** <http://software.cisco.com> に移動して、アカウントにログインします。

**ステップ 2** [Administration] セクションの [Request a Smart Account] リンクをクリックします。

**ステップ 3** アカウント承認者を選択するには、次のいずれかを実行します。

- 承認者として自分を選択するには、[Yes, I will be the Approver for the account] オプションをクリックします。
- 承認者として第三者を選択するには、[No, the person specified below will be the Approver for the account] オプションをクリックし、その人物の電子メール ID を指定します。

### Note

指定した承認者には、合意する権限が必要です。承認者は第一所有者の役割を務め、アカウント管理者を任命します。

**ステップ 4** 承認者のタイプに応じて、次の手順の 1 つを実行します。

- 承認者の場合は、次の作業を実行します。
  - a. [Account Name]、[Company/Organization Name]、[Country]、および [State/Province/Region] の情報を入力します。
  - b. (任意) 通常はデフォルトのドメイン ID を使ってください。どうしても変更が必要な場合は、[Edit] をクリックします。
  - c. [Edit Account Identifier] ウィンドウで、有効な [Proposed Domain Identifier] および [Contact Phone Number] を入力して [OK] をクリックします。

### Note

デフォルトのドメイン ID は承認者の電子メールドメインです。ドメイン ID を編集する場合は、その変更は手動承認プロセスに進みます。

- d. [Continue] をクリックして、スマート アカウントにリンクされる正しい住所を選択します。
  - 承認者でない場合は、次の手順を実行します。
    - a. [Account Name] および承認者へのオプションの [Message] を入力します。
    - b. (任意) 通常はデフォルトのドメイン ID を使ってください。どうしても変更が必要な場合は、[Edit] をクリックします。
    - c. [Edit Account Identifier] ウィンドウで、有効な [Proposed Domain Identifier] を入力して、[OK] をクリックします。
- Note**  
デフォルトのドメイン ID は承認者の電子メールドメインです。ドメイン ID を編集する場合、その変更は手動承認プロセスに進みます。
- d. [Continue] をクリックします。
  - e. 送信される電子メールの手順に従って、要求を完了します。

---

## スマート アカウントへのユーザの追加

スマートアカウントユーザ管理は、[Cisco Software Central](#) の [Administration] セクションで使用できます。

### 手順

- 
- ステップ 1 <http://software.cisco.com> に移動して、アカウントにログインします。
  - ステップ 2 [Administration] セクションの [Manage Smart Account] リンクをクリックします。
  - ステップ 3 [Users] タブをクリックします。
  - ステップ 4 [New User] をクリックします。
  - ステップ 5 [New User] セクションに適切な情報を入力します。  
(スマート アカウント全体または特定のバーチャル アカウントを管理するためのロールを定義します。)
  - ステップ 6 [Continue] をクリックします。
-

## GUI を介したスマート ライセンスへの従来のライセンスの変換

製品アクティベーションキー (PAK) に関連付けられた従来のライセンスをスマート ライセンスに変換できます。License Registration Portal で [PAKs/Tokens] タブをクリックして従来のライセンスにアクセスし、このセクションで提供される情報を使用して PAK をスマート ライセンスに変換します。

### 手順

- 
- ステップ 1 <http://software.cisco.com> に移動して、アカウントにログインします。
  - ステップ 2 [License] セクションの [Traditional Licensing] リンクをクリックします。  
LRP ウィンドウにリダイレクトされます。
  - ステップ 3 [Manage] で [PAKs/Tokens] タブをクリックします (まだ選択されていない場合)。
  - ステップ 4 [PAK/Token ID] チェックボックスをクリックします。
  - ステップ 5 [Actions] ドロップダウンメニューから [Convert to Smart Entitlements] を選択します。
  - ステップ 6 [Smart Account] ドロップダウンリストから、スマート アカウントを選択します。  
(注)  
自分に割り当てられているスマート アカウントのみ表示できます。
  - ステップ 7 [Virtual Account] ドロップダウン リストから、バーチャル アカウントを選択します。  
(注)  
自分に割り当てられているバーチャル アカウントのみ表示できます。
  - ステップ 8 [Assign] をクリックします。  
選択した PAK がスマート ライセンスに変換されます。
- 

## CLI を介したスマート ライセンスへの従来のライセンスの変換

製品アクティベーションキー (PAK) に関連付けられた従来のライセンスは、CLI を使用してスマート ライセンスに変換できます。

### 始める前に

- スマート ソフトウェア ライセンシングが有効であることを確認します。

- 有効なスマート アカウントがあることを確認してください。
- スマート アカウントに対して有効なユーザー権限があることを確認します。

## 手順

**ステップ 1** switch# **license smart conversion start**

従来のライセンスからスマートライセンスへの手動変換を開始します。変換はバックグラウンドで行われます。変換が成功するか失敗すると、システム ログ メッセージがスイッチのコンソールに表示されます。

**ステップ 2** (任意) switch# **license smart conversion stop**

手動変換を停止します。

**ステップ 3** (任意) switch# **show license status**

ライセンスの変換ステータスを表示します。ハイアベイラビリティ (HA) 設定でアクティブデバイスからこのコマンドを実行すると、HA 設定内のすべてのデバイスのステータスが表示されます。

**CLI を介したスマート ライセンスへの従来のライセンスの変換**

次の例は、CLI を使用して従来のライセンスをスマートライセンスに変換する方法を示しています。

```
switch# license smart conversion start
```

```
Smart License Conversion process is in progress. Use the 'show license status' command to check the progress and result.
```

次の例は、CLI を使用した従来のライセンスからスマートライセンスへの変換を停止する方法を示しています。

次に、スタンドアロン デバイスのライセンス変換のステータスの例を示します。

```
switch# license smart conversion stop
stop manual conversion failed:
Some Smart Licensing Conversion jobs stopped successfully.
```

次に、スタンドアロン デバイスのライン変換のステータスの例を示します。

```
switch# show license status

Smart Licensing is ENABLED.
Registration:
Status: REGISTERED
Smart Account: Big-U University
Virtual Account: Physics
Export-Controlled Functionality: Not Allowed
Initial Registration: SUCCEEDED on Feb 24 23:30:12 2014 PST
```

```
Last Renewal Attempt: SUCCEEDED on Feb 24 23:30:12 2014 PST
Next Renewal Attempt: Aug 24 23:30:12 2014 PST
Registration Expires: Feb 24 23:30:12 2015 PST
```

**!The following show output is applicable from Cisco NX-OS Release 8.2(1) onwards!**

```
Smart License Conversion:
Automatic Conversion Enabled: False
Status: SUCCEEDED on Jan 1 00:00:00 1970 UTC
```

```
License Authorization:
Status: AUTHORIZED on Aug 31 17:04:56 2017 UTC
Last Communication Attempt: SUCCEEDED on Aug 31 17:04:56 2017 UTC
Next Communication Attempt: Sep 30 17:04:56 2017 UTC
Communication Deadline: Nov 29 16:58:31 2017 UTC
```

## スマートソフトウェアライセンスの設定

### DNS クライアントの設定



(注) DNS クライアントの設定中に問題を避けるために、DNS クライアントを設定する前にネームサーバに到達可能であるかどうか必ず確認します。

#### 手順

##### ステップ 1 switch# **configure terminal**

グローバル構成モードを開始します。

##### ステップ 2 switch(config)# **ip domain-lookup**

DNS ベースのアドレス変換をイネーブルにします。

##### ステップ 3 switch(config)# **ip domain-name name**

Cisco NX-OS が非修飾ホスト名を解決するために使用するデフォルトのドメイン名を定義します。

Cisco NX-OS は、ドメイン名ルックアップを開始する前に、完全なドメイン名を含まないあらゆるホスト名にデフォルトのドメイン名を付加します。

##### ステップ 4 switch(config)# **ip name-server address1 [address2... address6]**

最大 6 台のネームサーバを定義します。使用可能なアドレスは、IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレスです。

## スマートソフトウェアライセンスのイネーブル化



(注) Cisco MDS NX-OS リリース 9.2(2) 以降、スマートソフトウェアライセンスはデフォルトで有効になっており、無効にすることはできません。

### 手順

**ステップ 1** switch# **configure terminal**。

グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。

**ステップ 2** 次のコマンドのいずれかを使用して、スマートソフトウェアライセンスを有効にします。

- switch(config)# **license smart enable**
- switch(config)# **feature license smart**

スマートソフトウェアライセンスを有効にします。

## スマートソフトウェアライセンスのディセーブル化

### 手順

**ステップ 1** switch# **configure terminal**。

グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。

**ステップ 2** 次のコマンドのいずれかを使用して、スマートソフトウェアライセンスを無効にします。

- switch(config)# **no license smart enable**
- switch(config)# **no feature license smart**

スマートソフトウェアライセンスを無効にします。

## デバイスの登録

### 始める前に

- スマートソフトウェアライセンスが有効であることを確認します。

- スマートアカウントへのデバイスの登録に使用するトークンがあることを確認します。

手順

---

```
switch# license smart register idtoken token [force]
```

トークンを使用してスマートアカウントにデバイスを登録します。

---

## デバイス登録の更新

手順

---

```
switch# license smart renew ID
```

デバイスの登録を更新します。

---

## デバイス認証の更新

手順

---

```
switch# license smart renew auth
```

デバイス認証を更新します。

---

## デバイスの登録解除

手順

---

```
switch# license smart deregister
```

デバイスを登録解除します。

---

# スマートソフトウェアライセンス用の Smart Call Home の設定

## Smart Call Home プロファイルの表示

手順

```
switch# show callhome smart-licensing
```

Smart Call Home プロファイルが表示されます。

## Smart Call Home のデータのプライバシーの有効化

手順

ステップ 1 switch# **configure terminal**

グローバル構成モードを開始します。

ステップ 2 switch(config)# **callhome**

Call Home コンフィギュレーションモードを開始します。

ステップ 3 switch(config-callhome)# **data-privacy hostname**

Call Home のデータのプライバシーを有効にします。

## スマートソフトウェアライセンスの確認

次のコマンドを使用して、スマートソフトウェアライセンスを確認します。

コマンド	目的
<b>show license</b>	すべてのライセンス ファイルの内容を表示します。
<b>show license all</b>	すべてのスマートライセンス エージェント情報を表示します。
<b>show license brief</b>	ライセンス ファイルのリストを表示します。

<b>show license status</b>	スマートライセンスエージェントのステータスを表示します。
<b>show license summary</b>	スマートライセンスエージェントのステータスの概要を表示します。
<b>show license tech support</b>	トラブルシューティングのための情報を収集します。
<b>show license udi</b>	デバイス UDI 情報を表示します。
<b>show license usage</b>	ライセンスの使用状況テーブル情報を表示します。
<b>show tech-support license</b>	ライセンス テクニカル サポート情報を表示します。

## スマートソフトウェアライセンスの設定の例

この例では、シスコポータルでデバイスを登録して、スマートソフトウェアライセンスを有効にする方法を示します。



- (注) デバイスの登録中に問題を避けるため、デバイスを登録する前に、ネームサーバが到達可能であるかどうか必ず確認します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# ip domain-lookup
switch(config)# ip domain-name cisco.com
switch(config)# ip name-server 171.70.168.183
switch(config)# callhome
switch(config-callhome)# dest xml trans http
switch(config-callhome)# dest xml email sl-sch-test@cisco.com
switch(config-callhome)# dest xml http
https://tools.cisco.com/its/service/oddce/services/DDCEService
switch(config-callhome)# enable
switch(config-callhome)# commit*
switch(config-callhome)# exit
switch(config)# feature license smart
```



- (注) \* call home 配布が有効になっていることを確認します。そうでない場合、コミットは失敗します。

以下の例は、スマートソフトウェアライセンスを無効化する方法を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# no feature license smart
```

以下の例は、デバイスを登録する方法を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# license smart register idtoken sampletokenID
register status: Registration process is in progress. Use the 'show license status'
command to check the progress and result
```

以下の例は、デバイスを登録解除する方法を示します。

```
switch# license smart deregister
```

次に、smart call home 設定の一部として CSSM サテライトの URL を提供する例を示します。

```
switch(config-callhome)# destination-profile xml email-addr example@cisco.com
alert-group Add alert group
email-addr Add email addr
http Add http or https url
transport-method Callhome message sending transport-method
destination-profile xml http https://tools.cisco.com/its/service/odce/services/DDCEService
services/DeviceRequestHandler*
```



(注) \*IP アドレスは次の形式にする必要があります : `https://<CSSM satellite IP:443>/Transportgateway/services/DeviceRequestHandler`

## スマートソフトウェアライセンスの確認の例

以下の例は、スマートソフトウェアライセンスを確認する方法を示します。

```
switch# show license status

Smart Licensing is ENABLED

Registration:
  Status: REGISTERED
  Smart Account: MDS-9148S
  Virtual Account: Default
  Export-Controlled Functionality: Allowed
  Initial Registration: SUCCEEDED on Apr 18 08:20:47 2017 UTC
  Last Renewal Attempt: None
  Next Renewal Attempt: Oct 15 08:20:46 2017 UTC
  Registration Expires: Apr 18 08:17:43 2018 UTC

License Authorization:
  Status: AUTHORIZED on Apr 18 08:25:08 2017 UTC

  Last Communication Attempt: SUCCEEDED on Apr 18 08:25:08 2017 UTC
  Next Communication Attempt: May 18 08:25:08 2017 UTC
  Communication Deadline: Jul 17 08:22:07 2017 UTC

switch# show callhome smart-licensing

Current smart-licensing transport settings:
Smart-license messages: enabled
Profile: CiscoTAC-1 (status: ACTIVE)

switch# show license summary

Smart Licensing is ENABLED
```

```

Registration:
  Status: REGISTERED
  Smart Account: Cisco Systems, Inc.
  Virtual Account: NexusSmartLicensing_Test
  Export-Controlled Functionality: Allowed

License Authorization:
  Status: AUTHORIZED on Dec 14 10:43:48 2016 UTC

  Last Communication Attempt: SUCCEEDED
  Next Communication Attempt: Jan 13 10:43:47 2017 UTC
  Communication Deadline: Dec 14 08:07:20 2017 UTC
    
```

switch# **show license brief**

```

Status Legend:
  u - unenforced, e - enforced
  d - platform default, f - factory installed SLP license,
  p - converted from PAK, s - migrated from Smart Licensing,
  a - installed using SLP, h - honored (pending SLP authorization)

General Legend:
  NA - not applicable
    
```

License Name	License Count	Port Count	Used	Status
MDS 9700 series Modular Enterprise package	1	NA	1	pu
MDS 9700 series Modular Mainframe package	1	NA	1	u
SAN Analytics	1	NA	0	pu
MDS 9300V Series Enterprise	1	NA	1	u
MDS 9396V 64G FC 16 Port Activation License	NA	48	48	d
MDS 9396V 64G FC 16 Port Activation License	3	48	48	ae

switch# **show license all**

```

Smart Licensing Status
=====
Smart Licensing is ENABLED
    
```

```

Registration:
  Status: REGISTERED
  Smart Account: Cisco Systems, Inc.
  Virtual Account: NexusSmartLicensing_Test
  Export-Controlled Functionality: Allowed
  Initial Registration: SUCCEEDED on Dec 14 10:43:33 2016 UTC
  Last Renewal Attempt: None
  Next Renewal Attempt: Jun 12 10:43:32 2017 UTC
  Registration Expires: Dec 14 08:07:20 2017 UTC
    
```

```

License Authorization:
  Status: AUTHORIZED
  Last Communication Attempt: SUCCEEDED on Dec 14 10:43:48 2016 UTC
  Next Communication Attempt: Jan 13 10:43:48 2017 UTC
  Communication Deadline: Dec 14 08:07:21 2017 UTC
    
```

```

License Usage
=====
    
```

```

Product Information
=====
UDI: SN:JAF1428DTAH
    
```

```

Agent Version
    
```

```
=====
Smart Agent for Licensing: 1.6.6_rel/88
```

**show license tech support** コマンドは、スマートエージェントログとともにスマートライセンスのステータスを表示します。

```
switch# show license tech support

Smart Licensing Tech Support info

Smart Licensing Status
=====

Smart Licensing is ENABLED

License Conversion:
  Automatic Conversion Enabled: True
  Status: Not started

Export Authorization Key:
  Features Authorized:
    <none>

Utility:
  Status: DISABLED

Smart Licensing Using Policy:
  Status: ENABLED

Data Privacy:
  Sending Hostname: yes
  Callhome hostname privacy: DISABLED
  Smart Licensing hostname privacy: DISABLED
  Version privacy: DISABLED

Transport:
  Type: cslu
  Cslu address: <empty>
  Proxy:
    Address: <empty>
    Port: <empty>
    Username: <empty>
    Password: <empty>
  Server Identity Check: False

Miscellaneous:
  Custom Id: <empty>

Policy:
  Policy in use: Merged from multiple sources.
  Reporting ACK required: yes (CISCO default)
  Unenforced/Non-Export Attributes:
    First report requirement (days): 90 (CISCO default)
    Reporting frequency (days): 365 (CISCO default)
    Report on change (days): 90 (CISCO default)
  Enforced (Perpetual/Subscription) License Attributes:
    First report requirement (days): 0 (CISCO default)
    Reporting frequency (days): 0 (CISCO default)
    Report on change (days): 0 (CISCO default)
  Export (Perpetual/Subscription) License Attributes:
    First report requirement (days): 0 (CISCO default)
    Reporting frequency (days): 0 (CISCO default)
```

Report on change (days): 0 (CISCO default)

Usage Reporting:

Last ACK received: <none>  
 Next ACK deadline: May 10 2022 10:06:40 UTC  
 Reporting push interval: 30 days State(2) InPolicy(90)  
 Next ACK push check: <none>  
 Next report push: Apr 12 2022 08:53:29 UTC  
 Last report push: <none>  
 Last report file write: <none>

License Usage

=====

Handle: 1

License: LAN\_ENTERPRISE\_SERVICES\_PKG

Entitlement Tag:

regid.2019-06.com.cisco.LAN\_Nexus9300\_XF,1.0\_76a87ea7-465b-40fd-b403-1bf9d845aa1b

Description: LAN license for Nexus 9300-XF

Count: 1

Version: 1.0

Status: IN USE(15)

Status time: Apr 12 2022 08:52:59 UTC

Request Time: Apr 12 2022 08:52:59 UTC

Export status: NOT RESTRICTED

Feature Name: LAN\_ENTERPRISE\_SERVICES\_PKG

Feature Description: LAN license for Nexus 9300-XF

Enforcement type: NOT ENFORCED

License type: Generic

Measurements:

ENTITLEMENT:

Interval: 00:15:00

Current Value: 1

Product Information

=====

UDI: PID:N9K-C93240YC-FX2,SN:FDO24450MBL

Agent Version

=====

Smart Agent for Licensing: 5.2.4\_rel/79

Upcoming Scheduled Jobs

=====

Current time: Apr 12 2022 10:35:37 UTC

Daily: Apr 13 2022 08:51:24 UTC (22 hours, 15 minutes, 47 seconds remaining)

Init Flag Check: Expired Not Rescheduled

Reservation configuration mismatch between nodes in HA mode: Expired Not Rescheduled

Start Utility Measurements: Apr 12 2022 10:38:09 UTC (2 minutes, 32 seconds remaining)

Send Utility RUM reports: Apr 13 2022 08:53:29 UTC (22 hours, 17 minutes, 52 seconds remaining)

Save unreported RUM Reports: Apr 12 2022 11:23:19 UTC (47 minutes, 42 seconds remaining)

Process Utility RUM reports: Apr 13 2022 08:51:25 UTC (22 hours, 15 minutes, 48 seconds remaining)

External Event: May 10 2022 10:06:40 UTC (27 days, 23 hours, 31 minutes, 3 seconds remaining)

Operational Model: Expired Not Rescheduled

Communication Statistics:

=====

Communication Level Allowed: INDIRECT

Overall State: <empty>

Trust Establishment:

Attempts: Total=0, Success=0, Fail=0 Ongoing Failure: Overall=0 Communication=0

Last Response: <none>

```
Failure Reason: <none>
Last Success Time: <none>
Last Failure Time: <none>
Trust Acknowledgement:
Attempts: Total=0, Success=0, Fail=0 Ongoing Failure: Overall=0 Communication=0
Last Response: <none>
Failure Reason: <none>
Last Success Time: <none>
Last Failure Time: <none>
Usage Reporting:
Attempts: Total=0, Success=0, Fail=0 Ongoing Failure: Overall=0 Communication=0
Last Response: <none>
Failure Reason: <none>
Last Success Time: <none>
Last Failure Time: <none>
Result Polling:
Attempts: Total=0, Success=0, Fail=0 Ongoing Failure: Overall=0 Communication=0
Last Response: <none>
Failure Reason: <none>
Last Success Time: <none>
Last Failure Time: <none>
Authorization Request:
Attempts: Total=0, Success=0, Fail=0 Ongoing Failure: Overall=0 Communication=0
Last Response: <none>
Failure Reason: <none>
Last Success Time: <none>
Last Failure Time: <none>
Authorization Confirmation:
Attempts: Total=0, Success=0, Fail=0 Ongoing Failure: Overall=0 Communication=0
Last Response: <none>
Failure Reason: <none>
Last Success Time: <none>
Last Failure Time: <none>
Authorization Return:
Attempts: Total=0, Success=0, Fail=0 Ongoing Failure: Overall=0 Communication=0
Last Response: <none>
Failure Reason: <none>
Last Success Time: <none>
Last Failure Time: <none>
Trust Sync:
Attempts: Total=0, Success=0, Fail=0 Ongoing Failure: Overall=0 Communication=0
Last Response: <none>
Failure Reason: <none>
Last Success Time: <none>
Last Failure Time: <none>
Hello Message:
Attempts: Total=2, Success=0, Fail=2 Ongoing Failure: Overall=2 Communication=2
Last Response: NO REPLY on Apr 12 2022 08:53:29 UTC
Failure Reason: <none>
Last Success Time: <none>
Last Failure Time: Apr 12 2022 08:53:29 UTC
```

```
License Certificates
=====
Production Cert: True
Not registered. No certificates installed
```

```
HA Info
=====
RP Role: Active
Chassis Role: Active
Behavior Role: Active
RMF: True
CF: True
```

```
CF State: Stateless
Message Flow Allowed: True

Reservation Info
=====
License reservation: DISABLED

Overall status:
  Active: PID:N9K-C93240YC-FX2,SN:FDO24450MBL
    Reservation status: NOT INSTALLED
    Request code: <none>
    Last return code: <none>
    Last Confirmation code: <none>
    Reservation authorization code: <none>
    Status:PAK

Specified license reservations:

Purchased Licenses:
  No Purchase Information Available

Other Info
=====
Software ID: regid.2017-11.com.cisco.Nexus_9300,1.0_ac6d6e6b-8ca9-4de7-8699-4ee1cb8f422d
Agent State: authorized
TS enable: True
Transport: cslu
Locale: en_US.UTF-8
Debug flags: 0x7
Privacy Send Hostname: True
Privacy Send IP: True
Build type:: Production
sizeof(char)   : 1
sizeof(int)    : 4
sizeof(long)   : 8
sizeof(char *) : 8
sizeof(time_t) : 8
sizeof(size_t) : 8
Endian: Little
Write Erase Occurred: False
XOS version: 0.12.0.0
Config Persist Received: True
Message Version: 1.3
connect_info.name: <empty>
connect_info.version: <empty>
connect_info.additional: <empty>
connect_info.prod: False
connect_info.capabilities: <empty>
agent.capabilities: UTILITY, DLC, AppHA, MULTITIER, EXPORT_2, OK_TRY_AGAIN
Check Point Interface: False
Config Management Interface: False
License Map Interface: True
HA Interface: True
Trusted Store Interface: True
Platform Data Interface: True
Crypto Version 2 Interface: False
SAPluginMgmtInterfaceMutex: False
SAPluginMgmtIPDomainName: False
SmartAgentClientWaitForServer: 2000
SmartAgentCmRetrySend: False
SmartAgentClientIsUnified: True
SmartAgentCmClient: True
SmartAgentClientName: UnifiedClient
```

```
builtInEncryption: True
SmartAgentXMLEntriesAreUnique: True
enableOnInit: true
chassisRole: Active
SmartTransportServerIdCheck: False
SmartTransportProxySupport: True
SmartAgentPolicyDisplayFormat: 2
SmartAgentReportOnUpgrade: true
SmartAgentIndividualRUMEncrypt: 2
SmartAgentUsageStatisticsEnable: False
SmartAgentMaxRumMemory: 4
SmartAgentConcurrentThreadMax: 10
SmartAgentPolicyControllerModel: False
SmartAgentPolicyModel: true
SmartAgentFederalLicense: False
SmartAgentMultiTenant: False
attr365DayEvalSyslog: False
checkPointWriteOnly: False
SmartAgentDelayCertValidation: False
enableByDefault: False
conversionAutomatic: True
conversionAllowed: true
storageEncryptDisable: False
storageLoadUnencryptedDisable: False
TSPluginDisable: False
bypassUDICheck: False
loggingAddTStamp: False
loggingAddTid: true
HighAvailabilityOverrideEvent: UnknownPlatformEvent
platformIndependentOverrideEvent: UnknownPlatformEvent
platformOverrideEvent: UnknownPlatformEvent
WaitForHaRole: False
standbyIsHot: True
chkPtType: 2
delayCommInit: False
roleByEvent: true
maxTraceLength: 100
traceAlwaysOn: False
debugFlags: 7
Event log max size: 512 KB
Event log current size: 68 KB
Local Device: No Trust Data
Overall Trust: No ID
Clock sync-ed with NTP: False

Platform Provided Mapping Table
=====
  regid.2017-11.com.cisco.Nexus_9300,1.0_ac6d6e6b-8ca9-4de7-8699-4ee1cb8f422d: Total
licenses found: 17
Enforced Licenses:
  P:N9K-C93240YC-FX2,S:FDO24450MBL:
  No PD enforced licenses
```

**show tech-support license** コマンドを使用して、デバイスにインストールされているライセンスに関する情報を表示できます。

```
switch# show tech-support license
`show license host-id`
License hostid: VDH=JPG2551000X
`show license usage`

License Authorization:
  Status: Not Applicable
```

```
(ENTERPRISE_PKG):
  Description: MDS 9100V Series Enterprise
  Count: 1
  Version: 1.0
  Status: IN USE
  Enforcement Type: NOT ENFORCED
  License Type: Generic

(PORT_ACTIV_9148V_PKG):
  Description: MDS 9148V FC 8 port-activation
  Count: 24
  Version: 1.0
  Status: IN USE
  Enforcement Type: ENFORCED
  License Type: Enforced

`show license status`
Utility:
  Status: DISABLED

Smart Licensing using Policy:
  Status: ENABLED

Data Privacy:
  Sending Hostname: yes
  Callhome Hostname Privacy: DISABLED
  Smart Licensing Hostname Privacy: DISABLED
  Version Privacy: DISABLED

Transport:
  Type: Smart
  URL: https://smartreceiver.cisco.com/licservice/license
  Proxy:
    Not configured

Policy:
  Policy in use: Merged from multiple sources
  Reporting ACK required: Yes
  Unenforced/Non-Export:
    First report requirement (days): 90 (CISCO default)
    Ongoing reporting frequency (days): 365 (CISCO default)
    On change reporting (days): 90 (CISCO default)
  Enforced (Perpetual/Subscription):
    First report requirement (days): 0 (CISCO default)
    Ongoing reporting frequency (days): 0 (CISCO default)
    On change reporting (days): 0 (CISCO default)
  Export (Perpetual/Subscription):
    First report requirement (days): 0 (CISCO default)
    Ongoing reporting frequency (days): 0 (CISCO default)
    On change reporting (days): 0 (CISCO default)

Miscellaneous:
  Custom Id: <empty>

Usage reporting:
  Last ACK received: <none>
  Next ACK deadline: Jun 29 13:27:54 2022 UTC
  Reporting push interval: 30 days
  Next ACK push check: <none>
  Next report push: Jul 14 12:09:43 2022 UTC
  Last report push: <none>
  Last report file write: <none>
```

```
Trust Code installed: Mar 31 11:17:43 2022 UTC
Active: PID: DS-C9148V-K9, SN: JPG2551000X
Mar 31 11:17:43 2022 UTC
```

```
`show license summary`
```

```
License Usage:
License                               Entitlement tag                Count  Status
-----
MDS 9100V Series Enterp... (ENTERPRISE_PKG)              1      IN USE
MDS 9148V FC 8 port-act... (PORT_ACTIV_9148V_PKG)       24     IN USE
`show running-config license all`
```

```
!Command: show running-config license all
!Running configuration last done at: Thu Jul 21 06:52:51 2022
!Time: Wed Jul 27 06:26:21 2022
```

```
version 9.3(1)
license grace-period
license smart transport smart
license smart url smart https://smartreceiver.cisco.com/licservice/license
license smart url cslu cslu-local
license smart usage interval 30
```

```
`test license platformInfo`
SL Status      : Enabled
Chassis ID    : 43
Trad spec file : mds_nellis
SL spec file  : smartpd_spec_m9148V
SLP spec file : sle_spec_m9148V
IPS bootup ports : 0
Bootup ports  : 0
Hport Status  : Disabled
SL(Prev) Status : Disabled
`show system internal license event-history error`
```

```
switch# show license udi
```

```
UDI: SN:JAF1428DTAH
```

```
switch# show license usage
```

```
License Authorization:
Status: AUTHORIZED on Apr 18 08:25:08 2017 UTC
```

```
(ENTERPRISE_PKG):
Description: This entitlement tag was created via Alpha Extension application
Count: 1
Version: 1.0
Status: AUTHORIZED
```

```
(PORT_ACTIV_9148S_PKG):
Description: This entitlement tag was created via Alpha Extension application
Count: 48
Version: 1.0
Status: AUTHORIZED
```

```
switch# show running-config callhome
```

```
!Time: Thu Dec 15 08:55:26 2016

version 8.0(1)
callhome
  email-contact sch-smart-licensing@cisco.com
  destination-profile xml transport-method http
  destination-profile xml http https://tools.cisco.com/its/service/oddce/
  services/DDCEService
  transport http use-vrf management
enable
```

## スマートソフトウェアライセンスングの使用例

### シナリオ 1

1. (ライセンス付き) を構成し、出荷前にハードウェアに事前インストールされるのリリースを選択します。



---

(注) ハードウェアに事前インストールされているライセンスをスマートライセンスに変換するには、[License Registration Portal](#) に移動して、スマートアカウントの設定を行ってからライセンスを変換します。

---

2. [Manage] セクションで [Devices] タブをクリックします。対応するデバイス ID をクリックして、[Device ID] ドロップダウンリストから [Convert to Smart Entitlements] を選択します。これにより、スイッチに事前インストールされているすべてのライセンスがスマートライセンスに変換されます。このタスクは、スマートライセンスに変換するスイッチごとに実行する必要があります。
3. サービスにより、変換を処理する前にスイッチ上のライセンスの Stock Keeping Units (SKU) がスマートライセンスにマッピングされているかどうかを検証されます。
4. スwitch上のスマートモードを有効にし、スマートライセンスを使用します。

### シナリオ 2

1. (ライセンス付き) を構成し、出荷前にハードウェアに事前インストールされるのリリースを選択します。
2. スwitchをにアップグレードします。



---

(注) ハードウェアに事前インストールされているライセンスをスマートライセンスに変換するには、[License Registration Portal](#) に移動して、スマートアカウントの設定を行ってから変換を実行します。

---

3. [Manage] セクションで [Devices] タブをクリックします。対応するデバイス ID をクリックして、[Device ID] ドロップダウンリストから [Convert to Smart Entitlements] を選択します。これにより、スイッチに事前インストールされているすべてのライセンスがスマートライセンスに変換されます。このタスクは、スマートライセンスに変換するスイッチごとに実行する必要があります。
4. サービスにより、変換を処理する前にスイッチ上のライセンスの SKU がスマートライセンスにマッピングされているかどうかを検証されます。
5. スwitch上のスマートモードを有効にし、スマートライセンスを使用します。

### シナリオ 3

1. 予備のライセンス SKU を発注し、Cisco Commerce Workspace (CCW) でスマートアカウントを注文に関連付けずにします。



(注) スマートソフトウェアライセンスを使用する前に、スマートアカウントを設定する必要があります。

2. 提供された PAK を取得して、スマートアカウントにロードします。
3. License Registration Portal サービスは、予備のライセンス SKU がスマートライセンスにマッピングされているかどうかを検証します。
4. Smart Software Manager (SSM) により、ご使用のスマートアカウントに従来のライセンスまたはスマートライセンスとして履行できるライセンスがあることが電子メールで通知されます。
5. SSM で PAK をスマートライセンスとして指定します。
6. がスイッチ上にインストールされていることを確認し、スマートモードを有効にして、スマートライセンスを使用して開始します。

### シナリオ 4

1. 予備のライセンス SKU を発注し、CCW でスマートアカウントを注文に割り当てます。
2. 既存の License Registration Portal サービスは PAK を LRP スマートアカウントに自動デポジットします。
3. License Registration Portal サービスは、予備のライセンス SKU がスマートライセンスにマッピングされているかどうかを検証します。予備のライセンス SKU がスマートライセンスにマッピングされている場合、サービスは CSSM に確認通知を送信します。
4. Smart Software Manager により、ご使用のスマートアカウントに従来のライセンスまたはスマートライセンスとして履行できるライセンスがあることが電子メールで通知されます。

5. SSM で PAK をスマートソフトウェアライセンスとして指定します。
6. がスイッチにインストールされていることを確認し、スマートモードを有効にしてから、スマートライセンスを使用して開始します。

## スマートソフトウェアライセンスのその他の参考資料

表 4: テクニカルサポート

説明	リンク
<p>シスコサポートの Web サイトでは、シスコの製品やテクノロジーに関する技術的な問題のトラブルシューティングや解決に役立てていただけるように、マニュアルやツールをはじめとする豊富なオンラインリソースを提供しています。</p> <p>お使いの製品のセキュリティ情報や技術情報を入手するために、Product Alert Tool (Field Notices からアクセス)、Cisco Technical Services Newsletter、Really Simple Syndication (RSS) フィードなどの各種サービスに加入できます。</p> <p>シスコのサポート Web サイトのツールにアクセスする際は、Cisco.com のユーザ ID およびパスワードが必要です。</p>	<a href="http://www.cisco.com/cisco/web/support/index.html">http://www.cisco.com/cisco/web/support/index.html</a>
License Registration Port (LRP) の資料	<a href="https://www.cisco.com/web/fw/tools/swift/xui/html/help.html">https://www.cisco.com/web/fw/tools/swift/xui/html/help.html</a>

## スマートソフトウェアライセンスの機能の履歴

機能名	リリース	機能情報
スマートエージェントログの表示	9.3(1)	<b>show license tech support</b> コマンドは、スマートエージェントログのみを表示するように拡張されています。

機能名	リリース	機能情報
スマートソフトウェアライセンス	8.4(2)	<p>スマートソフトウェアライセンスは、シスコソフトウェアを簡素化し、ネットワーク全体でシスコソフトウェアがどのように使われているかについて理解できるように支援するための標準化されたライセンスプラットフォームです。スマートソフトウェアライセンスは、Cisco MDS 9000 シリーズスイッチの次世代ライセンスプラットフォームです。</p> <p>次のコマンドがこの機能で導入されました。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• <b>feature license smart</b></li><li>• <b>license smart deregister</b></li><li>• <b>license smart enable</b></li><li>• <b>license smart register</b></li><li>• <b>license smart renew</b></li><li>• <b>show license all</b></li><li>• <b>show license status</b></li><li>• <b>show license summary</b></li><li>• <b>show license tech support</b></li><li>• <b>show license udi</b></li><li>• <b>show license usage</b></li></ul>



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。